

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票				No.	21-009	
PDCA	事務事業名	予防接種事業	部課等名	健康子ども部 保健センター 健康担当	担当 内線等	木村 84-0646
P 総合計画との関係性等	政策体系	章：第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち				
		節：第3節 健康増進と医療体制の充実				
		基本施策：1. 健康づくり				
		単位施策：(3) 疾病予防・感染症に対する取り組み				
	根拠法令等	個別施策：②感染症予防・対策の推進				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績				
		28年度 29年度 30年度 単位				
		①MR2種混合予防接種者数 2,049 1,968 1,995 人				
		②DT2種混合予防接種者数 979 1,007 957 人				
		③				
事業費 305,296 307,641 335,334 千円						
人件費 9,711 7,931 8,120 千円						
総事業費 315,007 315,572 343,454 千円						
活動単位当たりのコスト						
28年度 29年度 30年度 単位						
C 課題の整理	事業の評価・課題	①MR2種混合予防接種1人あたりのコスト 11,497 11,487 10,819 円				
		②DT2種混合予防接種1人あたりのコスト 5,206 5,066 3,738 円				
		③				
		成果指標				
		28年度 29年度 30年度 単位				
		①MR2種混合予防接種接種率 (1期及び2期の接種率) 実績値 97.0 96.6 102.5 %				
		目標値 98.0 98.0 98.0				
		②DT2種混合予防接種接種率 (各年度において小学校6年生であった者の接種率) 実績値 78.6 87.6 85.1 %				
		目標値 89.0 89.0 89.0				
		③ 実績値 目標値				
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	観点別評価				
		必要性 有効性 効率性				
		①市の関与の妥当性 法定事務 ④上位施策への貢献 大きい ⑦コスト削減余地 ない				
		②市民ニーズ 高い ⑤成果向上の余地 ある ※対象・手段の変更				
		③休廃止の影響 大きい ⑥類似事業の有無 ない ⑧受益者負担適正化余地 ない				
A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	B				
		MR2種混合予防接種の接種率については、厚生労働省が目標としている95%を達成することができた。毎月の未接種者への個別通知や、保育園、幼稚園を通じての勧奨通知の成果であると同時に、麻しんの流行による市民の予防意識の向上により増加したといえる。DT2種混合予防接種の接種率については、一昨年度よりも増加したが、前年度より接種率が低下した。ただ全体としては増加傾向にある。学校を通じての接種勧奨の成果と言えるが、乳幼児期に比べ保護者の予防接種への意識が薄れる傾向にあるため、引き続き接種勧奨の強化が課題である。				
		改善推進				
		現在行っている接種勧奨のうち最も効果のある個別勧奨通知など、ターゲットを絞った接種勧奨を継続していく。さらに文面をより予防意識を向上させるものに変更するなど、工夫していく。				
		成果指標				
A 課題解決のための目標	令和元年度の目標	目標値 単位				
		①MR2種混合予防接種接種率 (1期及び2期の接種率) 98.0 %				
		②DT2種混合予防接種接種率 (各年度において小学校6年生であった者の接種率) 89.0 %				